

# 宮川早生(37年生)各種隔年交互法 及び連年安定生産樹への改善等の展示

遊休樹設定のためフィガロン+エスレル・フィガロン+オイルを用い、夏季せん定での隔年交互結実樹を展示しています。

更に樹別隔年交互結実樹を生産年から連年安定生産樹に変更する方向として樹冠上部摘果法と半樹別交互結実法へ変更した樹を展示しています。

最後に、連年安定結実法として、枝別全摘果法、樹冠上部摘果法、慣行摘果法を比較展示しています。

簡単な比較は、表のとおりです。

## 平成15年度展示各種結実法の比較 (H13,14年 広島果研)

展示樹の結実方法	一樹当たり収量 (kg/樹)	品質	階級構成
<b>1. 樹別交互結実法</b>			
薬剤の利用によるもの			
1) フィガロン+エスレル	150.1 (75.1)	良	小
2) 夏季剪定	110 (55.0)	良	小

※ 樹単位では2年に一度の収穫となるので( )に50%の数字を表記

## 2. 樹別交互結実法から連年結実法に改善

1) 半樹別交互結実法	79.6	並	並
2) 樹冠上部摘果法	80.2	揃う	並~やや小

※ データーは昨年の展示ほ場での同年生の興津早生による。

## 3. 連年結実法

1) 枝別全摘果法 (枝別刈込み法)	117	減酸良	並
2) 樹冠上部摘果法	80.2	揃	並~やや小
3) 慣行法	92.5	並	並

※ 樹冠上部摘果法のデーターは昨年の展示ほ場での同年生の興津早生による。